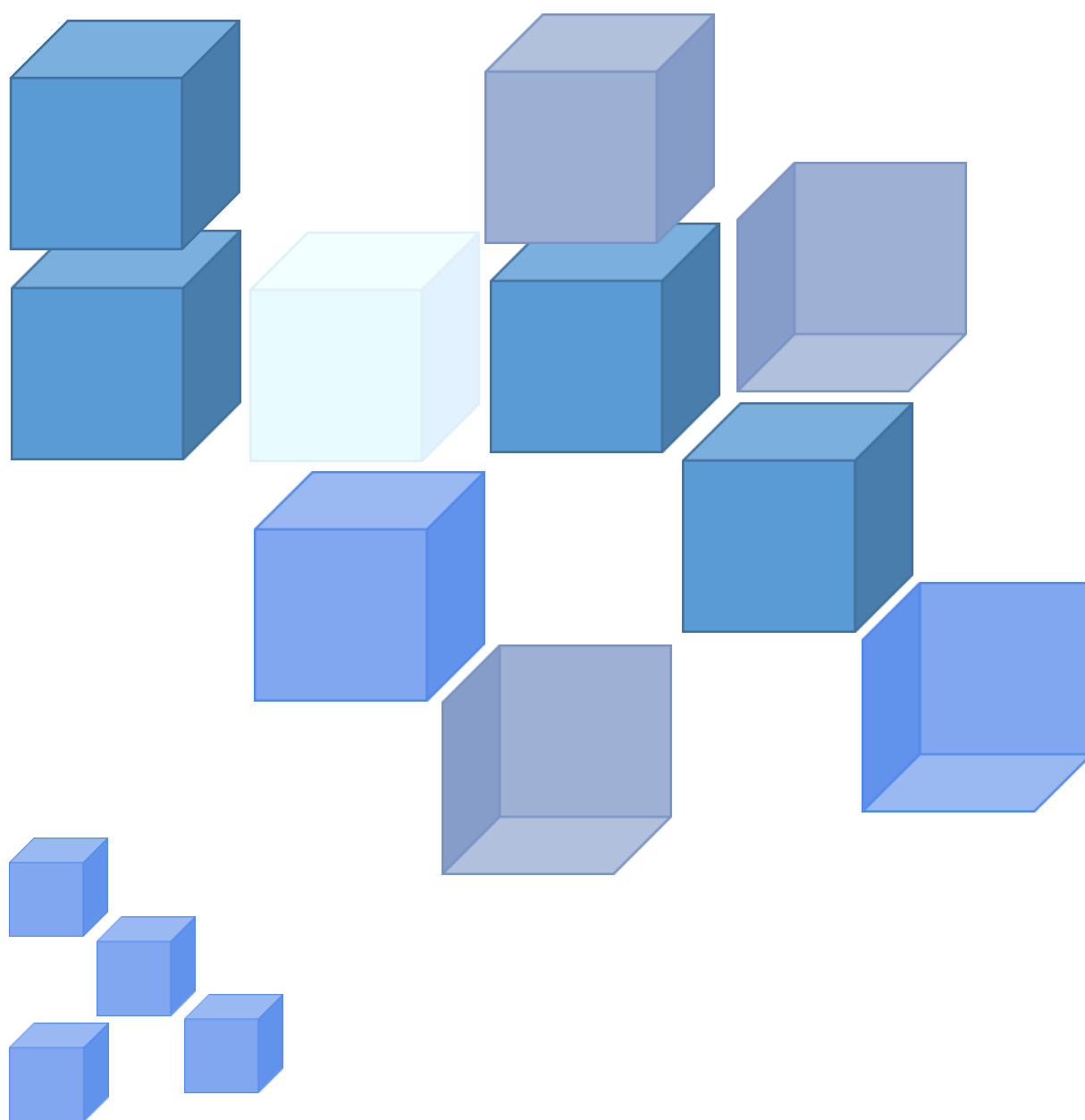


2. 国語の結果分析



国語について

国語については、小学校、中学校とも「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項（表内では「伝統的な言語文化と国語の特質」と略）の4つの領域に分かれています。

全体的な傾向としては、次のとおりです。

小学校 [国語A：主として知識]

分類	区分	平成27年度		平成28年度		平成29年度	
		平均正答率	全国との差	平均正答率	全国との差	平均正答率	全国との差
全体		58.5	-11.5	66.4	-6.5	67 *	-7.8
学習指導要領の領域等	話すこと・聞くこと	39.9	-13.1	75.5	-3.7	61.6	-7.6
	書くこと	81.6	-4.4	69.5	-3.3	53.2	-7.4
	読むこと	44.6	-10.6	75.2	-3.3	65.6	-4.6
	伝統的な言語文化と国語の特質	64.4	-12.8	63.1	-8.0	70.2	-7.8

平均無解答率	8.1	6.7	4.9
--------	-----	-----	-----

小学校 [国語B：主として活用]

分類	区分	平成27年度		平成28年度		平成29年度	
		平均正答率	全国との差	平均正答率	全国との差	平均正答率	全国との差
全体		54.9	-10.5	52.8	-5.0	50 *	-7.5
学習指導要領の領域等	話すこと・聞くこと			47.0	-4.1	56.7	-8.2
	書くこと	49.0	-12.1	47.4	-6.0	44.4	-9.0
	読むこと	57.2	-10.9	64.3	-5.0	43.3	-5.9
	伝統的な言語文化と国語の特質						

平均無解答率	10.0	5.3	6.8
--------	------	-----	-----

*平成29年度より平均正答率は、文部科学省の発表に基づき、寒川町は小数点以下を四捨五入した結果を示しています。(全国は小数第1位まで、都道府県及び市町村は小数点以下を四捨五入した結果の公表となっています。)

※【児童・生徒質問紙より】国語に対する印象について

(69) 国語の勉強は好きですか → 当てはまる (%)	平成29年度	小学校	中学校
	寒川町	50.3	55.3
	県	62.7	56.3
	国	60.5	57.3

(71) 国語の授業の内容はよく分かりますか → 当てはまる (%)	平成29年度	小学校	中学校
	寒川町	73.9	78.0
	県	83.4	79.0
	国	82.2	80.0

中学校 [国語 A : 主として知識]

分類	区分	平成27年度		平成28年度		平成29年度	
		平均正答率	全国との差	平均正答率	全国との差	平均正答率	全国との差
全体		71.9	-3.9	69.8	-5.8	74 *	-3.4
学習指導要領の 領域等	話すこと・聞くこと	78.0	-1.7	73.8	-5.1	73.0	-2.4
	書くこと	70.9	-2.7	69.3	-4.4	82.7	-3.0
	読むこと	84.8	-1.3	73.6	-5.0	70.7	-3.1
	伝統的な言語文化と国語の特質	67.5	-5.4	67.2	-6.7	73.4	-3.8

平均無解答率	2.7	4.1	4.3
--------	-----	-----	-----

中学校 [国語 B : 主として活用]

分類	区分	平成27年度		平成28年度		平成29年度	
		平均正答率	全国との差	平均正答率	全国との差	平均正答率	全国との差
全体		63.5	-2.3	58.4	-8.1	68 *	-4.2
学習指導要領の 領域等	話すこと・聞くこと	70.9	-1.3			68.3	-4.1
	書くこと	34.0	-2.7	49.1	-9.2	55.2	-5.6
	読むこと	59.8	-2.8	58.4	-8.1	68.6	-3.5
	伝統的な言語文化と国語の特質					33.1	-8.3

平均無解答率	2.5	8.1	4.4
--------	-----	-----	-----

濃い黒い網掛けは全国の平均正答率との差が10ポイント以上のもの、薄い黒の網掛けは、全国の平均正答率との差が5ポイント以上のものです。(以下同様)

ここで考えていきたいことは、年度ごとの平均正答数の上がり下がりではなく、学校の授業での取り組みがどのように表れているかということです。なぜなら、年度ごとに調査をする児童や生徒は違いますので、その時々の良い結果、悪い結果などと単純に比較することができません。しかし、これまでに行ってきた授業改善への取り組みについては、ここからその傾向を読み取っていくことができます。

このことから、「学習指導要領の領域等」に焦点を当てて分析をしていきます。特に A 問題、B 問題ともにこの3年間共通して調査を行っている「読むこと」「書くこと」について、その成果と課題をまとめていきます。

「読むこと」「書くこと」について

古くから「読み書き」という言い回しがあるように、「読むこと」「書くこと」が大事であることは、誰の目にも明らかです。

どの授業でも、この「読むこと」「書くこと」は行いますので、これらの力をつけることは学習全体を通して必要なことです。

小学校 国語 読む能力

問題	区分	平成27年度		平成28年度		平成29年度	
		平均正答率	全国との差	平均正答率	全国との差	平均正答率	全国との差
A	読むこと	44.6	-10.6	75.2	-3.3	65.6	-4.6
B		57.2	-10.9	64.3	-5.0	43.3	-5.9

A 問題	「読むこと」 設問の概要	出題の趣旨	寒川町		
			(正答率) (%)	率全 と国 の正 差答	無 解 答 率
4一	俳句の情景について考えたこととして適切なものを選択する	俳句の情景を捉える	76.3	-3.1	1.0
4二	グループの話し合いを通して見つけた俳句のよさとして適切なものを選択する		52.3	-4.7	1.0
3	学校新聞を書くために、「時の記念日」についての【資料】から、小野さんと今村さんが中心に読むとよい段落をそれぞれ選択する	目的に応じて、文章の中から必要な情報を見付けて読む	68.3	-6.1	0.5

B 問題	「読むこと」 設問の概要	出題の趣旨	寒川町		
			(正答率) (%)	率全 と国 の正 差答	無 解 答 率
3二	「きつねの写真」を読んだあとの話し合いにおけるア・イの発言の意図として、適切なものをそれぞれ選択する	自分の考えを広げたり深めたりするための発言の意図を捉える	25.7	-2.3	6.0
3一	「きつねの写真」を読み、登場人物の相互関係と場面についての描写を捉え、[A]に当てはまる言葉として適切なものを選択する	登場人物の相互関係や心情、場面についての描写を捉える	70.4	-5.5	4.1
3三	「きつねの写真」から取り上げた言葉や文を基に、松ぞうじいさんとび吉がきつねだと考えたわけをまとめて書く	物語を読み、具体的な叙述を基に理由を明確にして、自分の考えをまとめる	33.7	-10.0	28.6

中学校 国語 読む能力

問題	区分	平成27年度		平成28年度		平成29年度	
		平均正答率	全国との差	平均正答率	全国との差	平均正答率	全国との差
A	読むこと	84.8	-1.3	73.6	-5.0	70.7	-3.1
B		59.8	-2.8	58.4	-8.1	68.6	-3.5

A 問題	「読むこと」 設問の概要	出題の趣旨	寒川町		
			(正答率) (%)	率全 と国 の正 差答	無 解 答 率
8一	詩について説明したものとして適切なものを選択する	文章の表現の仕方について自分の考えをもつ	81.2	-0.7	1.2
4一	見出しの内容に対するまとめとして適切なものを選択する	文章の要旨を捉える	79.8	-1.2	0.2
4二	文章について説明したものとして適切なものを選択する	文章の構成や展開、表現の特徴について自分の考えをもつ	70.7	-2.2	0.2
6一	登場する人物を整理したものに当てはまる人物の組合せとして適切なものを選択する	場面の展開や登場人物の描写に注意して読み、内容を理解する	70.7	-4.1	1.0
6二	「どれもこれも仁王を蔵しているのはなかった」の意味として適切なものを選択する		55.0	-5.1	1.0
8二	二人の交流の様子について説明したものとして適切なものを選択する	文章に表れているものの見方や考え方について、交流を通して自分の考えを広くする	66.7	-5.6	1.4

B 問題	「読むこと」 設問の概要	出題の趣旨	寒川町		
			(正答率) (%)	率全 と国 の正 差答	無 解 答 率
1一	本の紹介カードに書かれている登場人物の様子が具体的に表現されている箇所として適切なものを選択する	登場人物の言動の意味を考え、内容を理解する	83.1	-1.0	0.7
3二	太宰治と他の作家との関係を書き直したものとして適切なものを選択する	目的に応じて必要な情報を読み取る	77.4	-1.3	1.0
1二	地の文にある言葉を発した人物を文章の中から抜き出す	場面の展開や登場人物などの描写に注意して読み、内容を理解する	81.0	-3.1	5.2
1三	比喩を用いた表現に着目し、感じたことや考えたことを書く	表現の仕方について捉え、自分の考えを書く	33.1	-8.3	15.0

このことから、小学校、中学校とも「読む能力」については定着してきています。これについては、寒川町の小学校、中学校では、それぞれの学校の実態に応じて校内で研究テーマを決めて、授業改善に取り組んでいます。特に国語の研究をしている学校においては、物語文や説明文の読解などについての授業改善の取り組みをしています。また、「さむかわ学びっ子育成推進事業」として、外部より直接各校に大学の講師を招聘し、ご指導いただいている経緯もあります。この場合、授業を学校の外に向けても公開し、他の小学校や中学校から参観者が集まり、研究協議をするなどの交流も行っています。他の学校の研究の良いところを自分の学校に持ち帰ることで、国語についての授業改善につなげています。「読むこと」についてはこのような授業改善への取り組みが大きく関係しています。

小学校 国語 書く能力

問題	区分	平成27年度		平成28年度		平成29年度	
		平均正答率	全国との差	平均正答率	全国との差	平均正答率	全国との差
A	書くこと	81.6	-4.4	69.5	-3.3	53.2	-7.4
B		49.0	-12.1	47.4	-6.0	44.4	-9.0

A 問題	「書くこと」 設問の概要	出題の趣旨	寒川町		
			(正答率) (%)	率全 と国 の正 差答	無解 答率
2一	お礼の気持ちを伝えるために、どのような内容を書いているのか、書かれている内容の説明として適切なものを選択する	目的や意図に応じ、内容の中心を明確にして、詳しく書く	74.1	-5.6	0.2
2二	手紙の後付けに必要な、日付、署名、宛て名のそれぞれの位置について、適切なものを選択する	手紙の構成を理解し、後付けを書く	32.4	-9.1	0.2

B 問題	「書くこと」 設問の概要	出題の趣旨	寒川町		
			(正答率) (%)	率全 と国 の正 差答	無解 答率
2二	【友達の考え】と同じ考えの人を説得するために引用する文章を、【『緑のカーテンを始めよう』の一部】から選択する	目的や意図に応じ、引用して書く	66.3	-4.6	3.8
2一	【緑のカーテン作りへの協力をお願い】における文章の構成の工夫として当てはまるものを選択する	目的や意図に応じて、文章全体の構成を考える	62.5	-8.3	1.0
3三	「きつねの写真」から取り上げた言葉や文を基に、松ぞうじいさんとび吉がきつねだと考えたわけをまとめて書く	物語を読み、具体的な叙述を基に理由を明確にして、自分の考えをまとめる	33.7	-10.0	28.6
2三	「水やりに協力してくれる人をば集めます」の[イ]に入る内容を、中学生からの【アドバイス】を基に書く	目的や意図に応じ、必要な内容を整理して書く	22.6	-10.4	4.8
1三	折り紙のみりよくについて、スピーチメモとグループの話合いで出された意見を基に書く	目的や意図に応じて、話の構成や内容を工夫し、場に応じた適切な言葉遣いで自分の考えを話す	37.0	-11.4	6.3

中学校 国語 書く能力

問題	区分	平成27年度		平成28年度		平成29年度	
		平均正答率	全国との差	平均正答率	全国との差	平均正答率	全国との差
A	書くこと	70.9	-2.7	69.3	-4.4	82.7	-3.0
B		34.0	-2.7	49.1	-9.2	55.2	-5.6

A 問題	「書くこと」 設問の概要	出題の趣旨	寒川町		
			(正答率) (%)	率全 と国 の正 差答	無解 答率
5二	〈推薦者から〉の欄に書き加える具体例に使う情報として適切なものを選択する	目的や意図に応じて材料を集め、自分の考えをまとめる	93.3	0.6	0.7
3二	一文を書き加える際に参考にした助言として適切なものを選択する	書いた文章についての助言を基に、自分の表現を見直す	81.4	-2.9	0.2

5-	〈立候補者から〉の欄の書き方を説明したものと適切なものを選択する	文章の構成を工夫して分かりやすく書く	76.7	-3.1	0.7
3-	それまでがんばってきた様子が読み手により伝わるように書き直す	書いた文章を読み返し、語句の使い方を工夫して書く	79.5	-6.5	3.6

B 問題	「書くこと」 設問の概要	出題の趣旨	寒川町		
			(正 答 率)	全 国 の 正 差 答	無 解 答 率
2三	スピーチの内容を聞き手からの意見に基づいて直す	相手の反応を踏まえながら、事実や事柄が相手に分かりやすく伝わるように工夫して話す	52.4	-5.2	6.4
3-	下書きについての説明として適切なものを選択する	集めた材料を整理して文章を構成する	68.6	-6.7	0.7
1三	比喩を用いた表現に着目し、感じたことや考えたことを書く	表現の仕方について捉え、自分の考えを書く	33.1	-8.3	15.0

しかしながら、「書くこと」については課題があります。先ほどの「さむかわ学びっ子育成推進事業」では、各校の研究を推進している中心的な役割を担う教師を集めて、「さむかわ学びっ子育成事業研究推進委員会」を開催しています。その協議中で「書くこと」については、「授業では、自分の考えを書いたり、話し合いを通して深めた考えを書いたりする活動を行っている。しかしそれは授業の流れの中でのことで、テストなどでは自分で必要な情報を取り出して書くことについて難しさを感じている実態もある」と分析しました。「書くこと」についての明確な課題を共通認識することができ、それを各校に持ち帰り、日々の授業実践に生かしていきます。

これらのことから、成果と課題については次のとおりです。

成果

これまでに取り組んで『強み』になったこと

文章に書いてある内容を意識して読むことができる

(内容を相互に関連付けながら読むことにつなげていく)

課題

これまでも取り組んできたが、より重点的に今後取り組みたいこと

目的や意図に応じて必要な情報を取り出して書くこと

集めた情報を根拠にして自分の考えや意見を書くこと